

令和2年第16回議会運営委員会 要点記録										
開閉会日時		令和2年6月26日(金曜日)		開会	11:05		会議場所		別海町議会 委員会室1	
				閉会	12:05					
委員の出欠		7 番	木嶋 悦寛	出席	8 番	松壽 孝雄	出席	9 番	今西 和雄	出席
		10 番	小林 敏之	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
委員外の出席		議長		西原 浩	4 番	小椋 哲也	出席			
事務局職員		事務局長		小島 実	事務局主幹		松本 博史			
会議に付した事件及び会議結果など										
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。								
委員長 10番 小林		11:05 開会・挨拶								
		開催概要説明								
		会期1日、出席委員5名、欠席委員0名、員外1名 議長、小椋広報・広聴常任委員長								
委員長 10番 小林		開会挨拶								
委員長 10番 小林		議事1 令和2年第2回定例会について								
委員長 10番 小林		第2回定例会を振り返って、1日ずつ気が付いたことなどを自由討議したい。								
自由討議		主な討議内容 1日目 - 特別委員会の設置により予算説明がスムーズであった。 2日目 - 反問権が執行され、質問者の質問と違う、質問趣旨の部分での町長の答弁が威圧的に感じられた点について分析する必要がある。 - 副町長が答弁席で議事整理に言及した点については、越権行為であるので申し入れる必要がある。 - 今回は、講師がなく、自分たちで磨き上げを行い努力をしている。質問の趣旨の範囲であれば、堂々と受け止める度量を答弁者は持つべきだ。 - 議事整理に関する暫時休憩を使ってもよいのではないか。 - 重複している質問について、議会運営委員会で調査の上で整理が必要。多少刺激性的な内容についても整理できるのではないか。 - 質問趣旨の範囲の中で、答弁に対しての一問一答において通告外とはならない。 - 片道30分方式と、答弁漏れの事前確認など、一般質問のあり方についてさらに研究し、一定の判断をもとに事務レベルの調整、理事者との調整をしていく必要がある。 3日目 - 特別委員会の補正予算審査は初めてであったが、スムーズでよかった。 - 予算の組み方、流用対応など、予算編成で気になることを申し入れる必要がある。 - 肉付け予算であったため、町長が出席する必要があったのではないか。 - ただし、骨格予算に十分肉がついていて、肉付け予算の補正予算の内容には見受けられなかった。 4日目 - 付託案件以外の議案の一部改正などは、定例会開催前に概要の説明を受けることで、本会議の上程前に所管の委員会で情報を抑えておくことができ、さらに休会中の対応が減るのではないか。 - 総務文教常任委員会において運動会の開催予定について説明があった。 - 産業建設常任委員会において商工業者に対する影響額調査について、業種別のデータを求め、説明を受けた。また、牛乳・乳製品消費拡大事業については、若い職員のアイデアが反映されているとの説明であった。 5日目								

5日目

令和2年第16回議会運営委員会 要点記録

			・ アキサケの日本遺産の関係で、町から報告が欲しかった。
委員長	10番	小林	・ 反省事項の改善、町側との調整については、随時行うこととする。
委員長	10番	小林	議事2 その他
			(1) 議会だよりの特集記事について
広報・広聴常任委員長		小椋	・ 議会だより第94号の特集記事について、新型コロナウイルス感染症に係る審議の経過をまとめたいと常任委員会で協議したため、通常のページ構成と変更になることから議会運営委員各位に報告する。
			・ また、そのほか、各委員会の年間調査計画についても特集する。
広報・広聴常任委員長		小椋	・ 福祉医療常任委員会については、2年にわたり公募者がいない東部介護施設の課題についても住民に知らせたい。
委員	7番	木嶋	・ 議会基本条例調査特別委員会の設置についても広報の必要があるのではないか。
			・ その内容も含めて、ページ構成を行う。
委員	7番	木嶋	(2) 地域めぐり懇談会について
広報・広聴常任委員長		小椋	・ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまでのような地域めぐり懇談会の開催について委員会では判断がつかなかったため、議会運営委員会に開催可否の決定を求めたいという結論となった。委員会では、双方向の意見交換会に対応する要綱を整備し、小さい単位で住民の意見を聞く方法もよいのではないかという意見もあった。
委員長	10番	小林	・ 万が一のことを考えて、これまでのような開催は難しいと考える。
委員	7番	木嶋	・ やはり、広聴は大事なので、小さい単位で行うのがよいのではないか。
広報・広聴常任委員長		小椋	・ ネタは十分なので、委員会単位で細かく行うのは良い方法とは考えている。
委員長	10番	小林	・ もう少し結論を出すために協議を続けることとする。
			(3) その他
事務局長		小島	口頭による内容説明
			① 議会基本条例調査特別委員会の開催日について
			② 議員会主催事業について
委員長	10番	小林	閉会挨拶
委員長	10番	小林	12:05 閉会